

原子力関係経費  
平成22年度概算要求構想ヒアリング  
(内閣府 原子力委員会)

平成21年7月29日  
内閣府原子力政策担当室

# 1. 概算要求方針

## (1) 全体方針

■平成22年度の概算要求においては、これまでと同様に、①アジア原子力協力フォーラム（FNCA）をはじめとした原子力関係の国際会議の開催・出席に係る経費、②原子力委員会及び各専門部会の運営経費等を中心に必要経費を計上する。

■また、平成22年度は原子力委員会として、中間貯蔵された使用済燃料及びプルサーマルに伴って発生する軽水炉使用済MOX燃料の処理の方策に係る検討や、原子力政策の進捗状況等を見極めた上、原子力政策大綱の改定の必要性に係る総合的な検討等を行う予定。

■その他、国民及び立地地域社会との相互理解や地域共生を図るための活動の充実や国際社会への対応の充実など、原子力政策上の課題に対して着実に取り組んでいく。

## (2) 重点事項

■原子力委員会では、地球温暖化対策として原子力発電の重要性を再評価する国際的な流れや、新興国における原子力発電の導入・拡大の動き等の国際的な原子力情勢を踏まえ、原子力政策において、**今後の我が国の対応のあり方は、重要な政策課題の一つ**と考えてきたところ。

■このため、原子力委員会の下に本年7月に「国際専門部会」を設置し、**原子力平和利用推進に向けた国際社会の取組において我が国が果たすべき役割の基本的考え方等を議論**していく。

### 【原子力委員会国際専門部会の概要】

#### 1. 検討内容

- ・原子力平和利用推進に向けた国際社会の取組において我が国が果たすべき役割についての基本的考え方
- ・今後の我が国の原子力利用推進のために必要な国際対応についての基本的考え方 他

#### 2. 座長(委員20名)

高木 誠一郎 青山学院大学国際政治経済学部教授

#### 3. 検討スケジュール

年内に5～6回の開催を予定(報告書とりまとめ時期は未定)

### 【世界における原子力発電の拡大傾向】

○将来構想 … 36ヶ国で合計282基、約295万kw

<欧州> 代表例

ロシア	28基、26GW
ウクライナ	20基、27GW

<アジア> 代表例

中国	80基、72GW
インド	15基、20GW

<北米> 代表例

米国	26基、26GW
カナダ	6基、7GW

その他、中東諸国、南アフリカ、ブラジル及び東南アジアにおいて構想あり

## 2. 見積もり基本方針への対応

### (5) 国民及び立地地域社会との相互理解や地域共生を図るための活動の充実

#### ①取組の方針

- 国民や立地地域の理解を得つつ原子力政策を遂行するために、政策評価のための公聴会、各種調査・分析の実施。
- インターネット等を活用した情報提供等を行い、原子力委員会の情報受信・発信力を強化し、原子力政策について相互理解や地域共生を図るための活動を一層促進する。

#### ②主な施策 (21年度予算額)

- 原子力委員会ご意見を聴く会等の実施 (25百万円)

### (6) 原子力平和利用の厳正な担保と国際社会への対応の充実

#### ①取組の方針

- 国際原子力機関 (IAEA) 総会、FNCAといった国際会議等について、積極的に参画し、原子力政策の国際的動向を把握し、我が国の原子力の研究、開発及び利用の推進に係る取組に反映する。
- 原子力に関する国際的な取組への貢献を通じて、我が国の原子力の平和利用に係る考え方を世界に反映させていく。

#### ②主な施策 (21年度予算額)

- IAEA総会、FNCA等の国際会議への積極的な参加 (27百万円)

#### アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の枠組み

